

# 日本の海上自衛隊「旭日旗」 掲揚に韓国首相が注文

韓国の李洛淵（イ・ナギョン）首相は、南部の済州島（チェジュド）で開かれる国際観艦式で、海上自衛隊の自衛艦旗「旭日旗」の掲揚自粛を日本側に要求している問題に関連し、「旭日旗が韓国人にどんな影響を与えるか、日本は繊細に考慮しなければならない」と述べた。

国会答弁で発言したもので、李氏は「艦首には韓国と日本の国旗を掲げ、艦尾には自衛隊旗を掲げるという趣旨のようだが、韓国国民はそれに対し問題提起している」とも言及。政府対応として「いろいろと考えている」と語った。

韓国側の旭日旗掲揚に対する自粛要請

に対し、小野寺五典防衛相は応じない考えを示している。この後、内閣改造があり、防衛相が変わる。

「韓国メディア」や「市民団体」は何を根拠に、「旭日旗」を「侵略と軍国主義の象徴」「戦犯旗」と呼ぶのか。

まずは、そこを徹底的に追及すべきです。白は白、黒は黒と、はっきりさせるべきでしょう。

韓国も日本にお願いするより、自国のメディアや市民団体の間違いを訂正してあげたほうが良いと思うのですが、韓国内では観艦式での日本の旭日旗掲揚に強く反対する声が広まっている。

